

第4章

人吉球磨地域の地域公共交通が抱える課題

1 前計画の評価

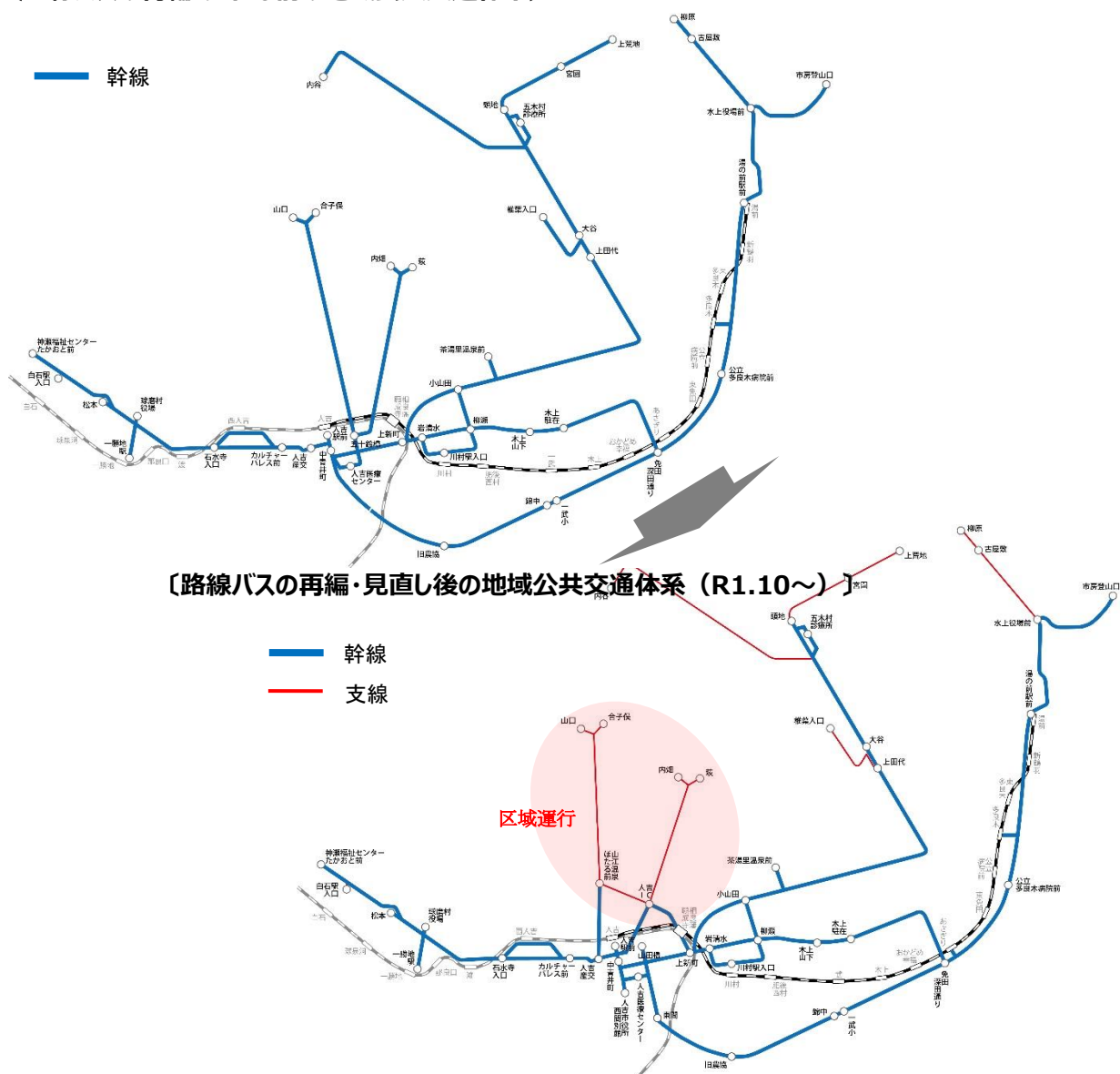
2 人吉球磨地域の地域公共交通が抱える課題

第4章 人吉球磨地域の地域公共交通が抱える課題

1 前計画の評価

- ◆ 前計画（人吉・球磨地域公共交通網形成計画：平成28年度～令和3年度）に掲げた施策メニューの実施状況は、路線バスの再編・見直しに合わせて、各市町村でコミュニティバスや乗合タクシー等の新規導入、さらには既存乗合タクシー等の見直し、それらの運行に合わせた拠点の創出やダイヤの見直し、広報等については実施されている状況です。
- ◆ 一方で、複数の交通モードが連携した取り組みや路線バス等を対象とした利用促進策（広報等）、さらには広報活動等の定期的実施に関しては、地域公共交通担当部署の人材不足や予算等の都合より未実施となっています。
- ◆ そうした状況の中、新型コロナウイルス感染症や豪雨災害等の影響もありますが、地域間幹線系統路線バスにおいては、路線再編・見直しに伴い、運行効率性は向上したものと考えます。
- ◆ しかし、路線バスへの財政負担状況は市町村によってばらつきが見られる状況（減少していない市町村もあり）であるとともに、今後の需要の動向、地域ニーズ等を踏まえたあり方検討が必要と考えます。

〔路線バスの再編・見直し前の地域公共交通体系〕



目標① 持続可能な公共交通ネットワークの形成

数値目標	目標値	評価値
①幹線系統となる公共交通の年間利用者数の減少率：くま川鉄道、路線バス	くま川鉄道：約 86% ※対 H22 比	くま川鉄道 約 93%(710 千人) ※R1 実績値
	路線バス：約 79% ※対 H22 比	路線バス 約 67%(128 千人) ※R1 実績値

【 評価結果 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、くま川鉄道に関しては地域と連携したイベント開催や各種企画等で目標値を上回る結果（R2 は豪雨災害の影響で減少）
- ・ 路線バスに関しては計画策定時に想定した趨勢型（約 65%）より若干上回るものの、利用促進策等が十分実施できていない状況もあり、目標値より下回る結果

数値目標	目標値	評価値
②地域間幹線系統（路線バス）の実車走行キロあたり輸送人員	0.15 人/km 以上	0.153 人/km ※R1 実績値 ※路線バス+球磨村コミュニティバス

【 評価結果 】

- ・ 利用者数は減少しているものの、路線再編等で実車走行キロが減少し、運行効率性は維持

目標② 拠点の創出及び交通結節機能の強化

数値目標	目標値	評価値
①新たな拠点の創出	15 箇所	新規 3 箇所 (水上役場前、相良村役場、渡駅)

【 評価結果 】

- ・ 対象とする拠点については当初より拠点となっている箇所が多く存在し、新規については路線バス再編等に合わせて 3 箇所設置
- ・ 一方で、人吉 IC やイオン錦店のような広域的な拠点は未整備

数値目標	目標値	評価値
②複数の交通モードが連携した施策数	10 施策	4 施策 ※接続ダイヤの見直し、乗り継ぎ運賃割引、時刻表等の改善、マップ作成等に関して一部の市町村が実施

【 評価結果 】

- ・ 各市町村において路線バス再編に合わせた支線部分の見直し（ダイヤの接続等）、さらには拠点整備等を行っているものの、情報提供面、運賃面等への取り組みはなし

目標③ 公共交通利用環境の向上

数値目標	目標値	評価値
①利用環境等に対する利用者の満足度	44.0%	- ※豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の影響で未評価

【 評価結果 】

- ・ アンケート調査は未実施であるものの、施策等の実施状況を踏まえると満足度の向上は期待できない

数値目標	目標値	評価値
②観光客の公共交通機関利用率	30.0%	- ※豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の影響で未評価

【 評価結果 】

- ・ アンケート調査は未実施であるものの、くま川鉄道利用者数の増加等を踏まえると若干の増加は期待されるが、全体としては大きな増加は期待できない

目標④ 地域公共交通に関する新たな仕組みづくり

数値目標	目標値	評価値
①地域と連携した利用促進の実施件数	10 件	一部実施 ※各市町村で多様な関係機関等と連携し、主に支線系統を対象とした利用促進（免許返納含む）を実施

【 評価結果 】

- ・ 各市町村で学校や老人クラブ、商工会など多様な関係機関と連携し利用促進に取り組んでいる
- ・ 一方で、対象となる地域公共交通は支線系統が多い状況

数値目標	目標値	評価値
②地域公共交通に関する情報発信数	5 回/年	不定期に実施 ※一部市町村では広報誌等を活用した広報実施。ただし、定期的な広報でなく、支線系統見直し等に応じた実施。 ※人吉球磨全体では未実施

【 評価結果 】

- ・ 各市町村において支線系統の見直し等に応じて様々な媒体を活用して広報活動を実施
- ・ 一方で、定期的な発信は未な状況であるとともに、路線バス等に関する発信は少ない状況

2 人吉球磨地域の地域公共交通が抱える課題

